

令和元年度

社会福祉法人知多市社会福祉協議会

事業報告書

令和元年度 社会福祉法人知多市社会福祉協議会 事業報告

I 市民本位の福祉サービス

単位:円

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 情報提供・啓発の充実					
①	社協だより「ちたのふくし」の発行	社協事業・活動を市民に広く周知し、福祉の理解と関心を高めるために年4回発行し、全戸配布を行いました。 【主な掲載内容】 7月: 事業報告、決算、視覚障がい者情報提供事業、福祉団体活動報告 10月: 共同募金運動、会員募集お礼 1月: 障がい者虐待防止啓発、ふくし川柳入選作品、共同募金運動協力お礼、ボランティア講演会 4月: 事業計画、予算、会員募集お願い、発達障がい理解セミナー、移送サービス事業紹介 【毎号掲載】 高齢者相談支援センター通信、生活困窮者サポート通信、ボランティア通信、サロン情報、地域包括ケアシステムだより、寄付報告	5,656,000	5,122,806	533,194
②	ホームページ事業	ホームページによる情報発信を定期的に行いました。 各事業案内・募集、事業報告、ちたのふくしPDF版掲載、H30事業報告・収支決算、H31事業計画・収支予算掲載、職員募集、赤い羽根作品コンクール・ふくし川柳入賞作品掲載 その他	266,000	234,752	31,248
③	視覚障がい者情報提供事業	視覚障がいのある方に音訳・点訳により「ちたのふくし」・「広報ちた」等の情報提供を行いました。また、音訳情報のCD化と音訳図書の設置を総合ボランティアセンターに継続して行いました。 利用者数: 12人 発送数: [音訳数] 328本、[点訳数] 306冊 音訳図書貸出件数: 0件 協力団体: 声のたより「青空」 情報録音ボランティア「じゅげむ」 視覚障がい者サービスグループ「ルポン」 点訳サークル「てんてん」	126,000	77,266	48,734
④	手話奉仕員養成講座入門編	聴覚障がいのある方への理解と、手話でコミュニケーションを図るための入門的な技術の習得を目指すため開催しました。 期間: 5月8日～9月25日(全20回コース) 修了者: 20人 講師: 知多地区聴覚障害者支援センター	532,000	517,292	14,708

2 総合相談体制の充実

	高年齢者の総合相談、介護予防サービスの総合的なマネジメントを社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等の専門職が行いました。また、高年齢者虐待相談センター業務を市から受託し関係機関と連携を図りながら行いました。 【相談件数】 17,570件 【高年齢者虐待に関する相談】 1,422件 【介護予防・事業対象者支援計画作成件数】 7,472件 【介護予防講演会】 第1回期日：7月6日 内容：「NHKテレビ体操出演者から学ぶ正しいラジオ体操」 講師：岡本 美佳さん (NHKテレビ・ラジオ体操指導者) 参加人数：104人 第2回期日：11月30日 内容：「介護落語を聴いてイキイキ表情になろう」 講師：林家源平さん(落語家) 参加人数：118人 【ひとり暮らし高齢者交流会】 期日：10月25日 共催：東部地区民生委員児童委員協議会 参加人数：81人 【介護者リフレッシュ交流会】 回数：4回 内容・参加人数 6月25日 住職の法話と中国医学気功 10人 9月27日 栄養講話と健康体操 6人 11月29日 音楽鑑賞とストレッチ体操 17人 2月26日 パステルアート 15人 【介護予防フォローアップ】 回数：129回 参加人数：延べ1,550人 毎月第2・4火曜日 東部地区 毎月第3木曜日 岡田地区 毎月第4木曜日 八幡地区 毎月第2木曜日 新知地区 毎月第1水曜日 南粕谷地区 毎月第1・3水曜日 旭北・旭東地区 毎月第2金曜日 旭南地区 毎月第3火曜日 東部地区 毎月第3・4火曜日 佐布里地区 内容：健康体操 (ヨガ、ストレッチ、リズム体操、チューブ体操等) 講師：下村純子さん(あいち介護予防リーダー) 細川由美さん(ヨガインストラクター) 片岡恵子さん(健康アドバンスリーダー) 宮西艶子さん(あいち介護予防リーダー) 辻川政子さん、竹内聡一さん、衣川豊美さん、竹内佳代子さん (運動器の機能向上プログラム指導者) 【出前講座】 回数：68回 内容：高齢者相談支援センター活動紹介、消費者被害、認知症サポーター養成講座、福祉協力校等 【認知症介護者交流会】 回数：11回 会場：福祉活動センター 参加人数：延べ96人 【認知症カフェ】 認知症の人とその家族がお互いの介護の悩みや情報を共有 「小梅カフェ」 回数：6回(偶数月第4日曜日) 会場：おしゃべり処 和び咲び 参加人数：73人		131,026,000	125,057,471	5,968,529
①	知多市高齢者相談支援センター(知多包括支援センター) 高齢者虐待相談センター 認知症総合支援事業				

		「小梅カフェおかだ」 回数:5回(奇数月第4金曜日) 会場:小規模多機能知多 参加人数:49人 「カフェ・ド・プラムそうり」 回数:5回(奇数月第3木曜日) 会場:プラムガーデン 参加人数:46人 「にしの茶屋いろは」 回数:5回(偶数月第3火曜日) 会場:知多共愛の里 参加人数:125人 「小梅カフェ大興寺」 回数:3回(偶数月第4火曜日) 会場:ちた福寿園 参加人数:81人			
3 福祉教育の充実					
①	発達障がい理解セミナー	発達障がいを正しく理解するために、啓発セミナーを開催しました。 期日:6月23日 内容:「就労から逆算して考える育児 ～発達障がいのある息子3人の 就労体験、夢を通して～」 講師:笹森理絵さん(神戸市ピアカウンセラー) 参加人数:210人	111,000	78,450	32,550
②	ふくし川柳	市内の小・中学校へ日常生活や実践教室等で感じたことを五・七・五の川柳として夏休みに募集しました。 応募総数:2,315作品 特選:3作品 秀作:6作品 佳作:6作品	116,000	111,396	4,604
③	社会福祉協力校事業 (実践教室・社会福祉文庫事業)	市内の小・中学校の児童生徒を対象に、福祉に関する実践体験、気づき、振り返りを行い、障がいのある方等とふれあう機会を提供しました。また、社会福祉への理解と関心を高めるため、市内の小・中・高等学校へ福祉に関する図書等の教材を配りました。 【実践教室】 助成額:各校50,000円 《短期プログラム》 内容:講話・車いす・手話・点字・ガイドヘルプ・要約筆記・介護体験・災害救援・高齢者疑似体験等 《長期プログラム》 内容:災害理解・高齢者理解・障がい理解プログラム(年間) 【社会福祉文庫事業】 助成額:各校20,000円上限 配本数:小学校10校・中学校5校・高等学校1校 計81冊	1,332,000	1,216,376	115,624
④	福祉教育セミナー	従来の疑似体験型の学習から生活機能に視点を当てる福祉教育プログラムのあり方を検討する機会とするために、市内の小・中・高等学校の教員を対象に開催しました。 期日:7月31日 内容:「このまちのふだんのくらしのしあわせと福祉教育」 講師:野尻紀恵さん (日本福祉大学社会福祉学部 教授) 参加人数:16人	77,000	42,712	34,288

Ⅱ 市民の支え合い活動の活性化

単位:円

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 助け合いの推進と暮らしやすいまちづくり					
①	あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業	町内会単位でのあんしん見守りネットワーク活動の普及を図るため、各地域での座談会と全体研修会を開催しました。 【確認書締結地区】 70町内会 【あんしんとなり組・災害時要援護者支援研修会】 期日:1月13日 内容:「地域で老いるために ～地域から智域へ～」 講師:渡辺哲雄さん (老いの風景 作者 日本福祉大学中央福祉専門学校 専任教員) 参加人数:260人(確認書締結地区役員、 民生委員・児童委員、市・社協職員)	231,000	90,360	140,640
②	コミュニティ地域福祉活動推進事業	10コミュニティの地域福祉活動推進事業に前年度会費の20%の助成を行いました。	1,748,000	1,748,000	0
③	コミュニティ福祉活動協力事務手数料	共同募金運動(戸別募金)にご協力いただいた地区へ、それぞれ募金実績額の8%を協力事務手数料として支払いました。	392,000	379,685	12,315
④	傾聴ボランティア訪問支援事業	孤独や不安を抱える高齢者や障がい者、その家族に対して孤独や不安等を和らげることを目的に傾聴ボランティアを派遣しました。 【傾聴ボランティア訪問支援事業】 活動内容:利用者1人に対し訪問概ね月2回 ボランティア全体会、代表者会ともに11回 利用者宅又は集いの場に訪問し話し相手をする 利用者宅訪問回数110回 施設訪問回数45回 費用:無料 活動者:傾聴ボランティア「うさぎ」 登録者数24人・ボランティア活動実績延べ199人 ※2月26日以降新型コロナウイルス感染症予防対策のため、活動を休止 【傾聴ボランティアフォローアップ研修】 個人宅や施設訪問等様々な地域のニーズに対応できる傾聴ボランティアを育成するため、知識や技術を習得するために開催しました。 期日:9月25日 講師:団体ボランティア ひびのきおく 内容:昔の懐かしい道具に触れたり、子どもの頃の思い出などを話し合うなどして、高齢者の健康増進を進める回想法の手法を学ぶ。 参加人数:14人	48,000	12,400	35,600

⑤	買物支援ボランティア派遣事業	買物弱者の高齢者などを地域ぐるみで支えるために、買物支援ボランティアを派遣し日常生活の支援を行いました。 【買物支援ボランティア派遣事業】 活動日：月～金曜日 10:00～16:00(週1回1時間程度) 利用料：100円+燃料費200円 登録利用者：11人、延べ利用件数：287回 打合せ会：月に1回(11回) ボランティア活動延べ件数：563人(基本2人態勢) ※3月14日以降新型コロナウイルス感染症予防対策のため、活動を休止 【買物支援ボランティアフォローアップ研修】 個人宅への訪問時の緊急事態に備えるために救命講習を受講しました。 期日：7月9日 内容：活動は、市内の店舗が基本ではあるが、市内に無い店舗の見学を行った。また、研修を通して交流を図り商品の選定手法など活動時の情報共有をした。 会場：東海市アオキスーパー及びバロー	—	—	—
⑥	精神障がい者連携事業	精神障がい者関連の情報共有及び関係機関との連携を深め、関連事業(相談、日常生活自立支援事業、貸付等)に繋げました。 SST初任者研修受講 精神保健福祉サポート会議参画	—	—	—
⑦	若者未来応援事業	市若者未来応援事業を、若者応援隊「まなざし」、サポートネットゆっか、市社会福祉協議会の三者による実行委員会方式で受託し、ひきこもり・不登校支援事業を実施しました。 【若者サポート進路を考える会】 期日：9月29日 内容：当事者体験談、学校の紹介、進路相談 参加人数：91人 【若者サポートセミナー】 期日：12月1日 内容：「ひきこもりを語る ～当事者及び兄弟の経験を通して～」 講師：菅沼和司さん、菅沼 功さん (一般社団法人若者支援事業団理事・同事業団代表理事) 参加人数：39人 【街頭啓発】 期日：10月26日 啓発場所：知多市民体育館及び周辺 内容：ひきこもり・不登校に対する正しい理解・支援の啓発 部数：700部	—	—	—

2 ボランティア・NPO活動の担い手の養成

①	総合 ボランティア センター 管理運営事業	ボランティア活動の情報発信・交流の拠点として、同じ思いを持つ方々の行きつけの場となることを目指し、知多市総合ボランティアセンターの管理運営を行いました。 相談件数: 421件 派遣件数: 960件 センター来館者数: 3,653人(平均304人/月) 登録: 団体65グループ836人、個人208人 ちたミニ講座: 21講座134人受講	1,358,000	1,005,252	352,748
②	団体 ボランティア 表彰事業	ボランティア団体の長年にわたる活動が評価され、各種表彰の受賞にあたり、今後の活動のステップアップ及び励みとするため、表彰式出席のための旅費などを支援しました。 表彰実績 緑綬褒章 手話サークルたまごの会 県知事表彰 押し花グループちた 県社協感謝状 6団体 買物支援ボランティアらくだ ちたvoice倶楽部 ガールスカウト愛知県第95団 ちたプラス.ねっと八幡ブローイングオーケストラ 防災活動支援チームやまびこ 花と緑と健康のまちづくりフォーラム メリーフェイスちた	87,000	86,020	980
③	総合 ボランティア センター 運営委員会	ボランティア活動を推進するために総合ボランティアセンターの運営、活動、事業について関係団体より選出された8名で構成された運営委員で検討しました。 運営委員会: 3回(5月30日、12月9日、3月27日) ※3月27日はコロナ感染症予防対策の為中止、書類送付	6,000	587	5,413
④	情報誌 発行事業	【ボランティアタウンちた】 総合ボランティアセンターに登録する個人・団体の情報を市民へ広く発信し、ボランティア活動に関心を持っていただくために「ボランティアタウンちた」を発行しました。 部数: 900部 配布先: 市内公共施設、店舗、民生委員等の関係者 内容: センター利用ガイド、派遣手続き、グループ紹介 【ちたのふくし(ボランティア通信)】 ボランティア情報の発信と活動への関心を高めるために発行。これまでの総合ボランティアセンター通信「てんこ杜」を「ちたのふくし」に統合し、新たにスタートしました。 回数: 4回(7月・10月・1月・4月) 配布方法 全戸配布	972,000	858,418	113,582

⑤	青少年ボランティア・市民活動体験事業	青少年を対象にボランティアグループ、NPO、福祉施設等でボランティア活動を体験する機会を提供しました。 期日：8月1日～8月31日 体験施設・団体数：29施設・団体 参加人数：延べ240人 実人164人 (中学生61人,高校生100人,一般3人)	169,000	126,970	42,030
⑥	まちづくり人材育成事業	まちづくり人材育成事業を総合ボランティアセンター・地域福祉サポートちた・市民大学ちた塾で構成する実行委員会が市から受託し、企画・運営に参画しました。 開催日：6月22日～10月5日 全8回 会場：市民活動センター 他 【総合ボランティアセンター企画事業】 (1) 8月17日実施分 演題：地域づくりの実践(生きがいコース) 講師：社会福祉協議会職員、市市民協働課職員 内容：「地域包括ケアシステム」とは ／つつじが丘地区事例紹介 ／多世代・多文化共生による朝倉団地の再生 ／ワークショップ「センタープレイス課題解決のアイデアは」 参加者：18人 (2) 9月7日実施分 演題：ゆがみとり(健康コース) 講師：生田祐江さん(個人登録ボランティア) 内容：正しい姿勢・ゆがみとりのコツ 参加者：25人	—	—	—
⑦	ボランティア研修	ボランティア同士のネットワークづくりや啓発につなげ、安心して活動できる体制を確保することを目的に、総合ボランティアセンターに登録するボランティアを対象に、その知識と技術向上のため、研修会を開催しました。 期日：9月28日 内容：これからの地域づくりにボランティアが大切にしたいこと 講師：酒井 保 さん(ご近所福祉クリエイター) 参加人数：19人	65,000	56,814	8,186
⑧	ボランティア講演会	市内でボランティア活動している・関心のある方との交流・相互啓発を通じて、ボランティアの輪を広めることを目的にボランティア連絡協議会と協働開催しました。 期日：1月25日 会場：勤労文化会館やまもホール 第1部 講演会 「やさしい日本語でつながる地域」 講師 土井佳彦さん (多文化共生リソースセンター東海代表理事) 第2部 落語会 「こどもも おとなも にほんじんも がいこくじんも、みんなで わらおう！ やさしいにほんごらくごかい」 講師 桂 かい枝さん(落語家) 参加人数：約200人	332,000	330,201	1,799

⑨	ボランティア 連絡協議会 への助成	市内のボランティアグループで組織するボランティア連絡協議会に対して交流会事業等の活動費を助成しました。	100,000	100,000	0
⑩	団体 ボランティア との協働事業	総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティアの活動を活性化させ、地域福祉事業を共に推進するために協働で事業を実施しました。 助成額: 1団体100,000円上限 交付団体数: 2団体 福祉救援ボランティアこだま ガールスカウト愛知県第95団	200,000	200,000	0
⑪	団体 ボランティア 運営費等 助成金 交付事業	団体ボランティアの育成及び活動を支援し、ボランティア活動を推進するため、ボランティアセンター登録団体の運営費及び物品購入費等に対する助成金を交付しました。 物品購入費助成 対象: ボランティアセンター登録団体 上限額: 10万円以内 交付団体数: 3団体(原則) 採択団体: ちた地域ねこの会 おはなし・みずぐるま 押し花グループちた 観梅ボランティアガイドの会 子どもの幸せを願うネットワーク こども幸せねっと	300,000	285,491	14,509
⑫	発達障がい サポーター 養成講座	発達障がいのある子どもとその家族を地域で支えるために、子どもの自己肯定感を育む居場所支援サポーターの養成のために開催しました。 期日: 7月21日 講師: 本美利枝子(ひみつきちアドバイザー) 参加人数: 8人(内登録4人)	22,000	22,000	0
3 活動・交流の拠点確保の支援					
①	ふれあい・いきいき サロン事業 サロnde寄り合い	町内会等に根付いた形で無理のない開設支援・情報支援・活動支援を行いました(市内44箇所 新規サロン含む)。 【新規サロン】(2箇所) ほっこり(八幡) やまもりいこいの家(知多)	314,000	200,898	113,102
②	総合 ボランティア センター ミニ講座	総合ボランティアセンターに登録しているボランティアが講師・協力者となり、日頃の活動を市民に広く提示、提供しました。 回数: 21回 参加人数: 延べ134人	—	—	—

Ⅲ 誰もが参加できる健康・生きがいづくり

単位:円

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 健康づくり・生きがいづくりと社会参加の創出					
①	移送サービス事業 車いす貸し出し事業	【移送サービス事業】 車いすを使用され外出が困難な方に福祉車両の貸し出しを行い、社会参加支援を行いました。また、軽自動車を1台買い替えました。 福祉車両:車いす対応車両2台 利用件数: 23件 利用者登録数: 10人 【車いす貸し出し事業】 高齢者、身体障がい者・傷病者の方などに車いすを貸し出し、日常生活の便宜を図りました。 保有台数: 44台 貸出件数: 145件	2,487,000	2,148,299	338,701
②	ひとり暮らし高齢者への年賀状郵送事業	ひとり暮らし高齢者に年賀状を通じた交流を行うため、ボランティアグループに助成をしました。	65,000	65,000	0
③	介護保険外対応ホームヘルプ事業(生活応援サービス「かがやき」)	入退院時や病院内の介助など、介護保険制度では対象とされないサービスを提供しました。 利用回数: 93回	「Ⅶ 介護保険・障がい福祉事業」 (17ページ)に包含		
④	障がい者居宅介護等事業	身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方にホームヘルパーを派遣してそれぞれに応じた身体介護・家事援助等を行い、自立した生活の支援をしました。 利用回数: 居宅介護 4,736回 移動支援 248回			
⑤	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭・父子家庭等で就職活動、疾病、生活環境の変化等により生活援助が必要な家庭にホームヘルパーを派遣して、保育、調理、洗濯などのサービス提供します。 利用回数: なし			
2 子育て・若者支援の環境整備					
①	フリースペース「ひみつきち」(発達障がい児居場所づくり事業)	発達に不安のある子どもとその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる家庭的な居場所を開催しました。 回数: 17回 開催: 夏休み(10回)、 第3土曜日(7回)、 会場: 福祉活動センター他 内容: レクリエーション、社会参加体験等 参加人数: 利用者118人、家族158人、 ボランティア113人(いずれも延べ)	545,000	253,576	291,424

②	フリースペース 「まな」(ひきこも り・不登校居場所 づくり事業)	ひきこもり・不登校で悩んでいる本人や家族をありのままに 受け入れる居場所を開催しました。 回数:16回 開催:毎月第2・4土曜日 会場:福祉活動センター他 内容:自由に話し合える居場所とレクリエーション等 参加人数:利用者70人、家族1人、 ボランティア62人、見学者・協力者19人 (いずれも延べ)	183,000	129,882	53,118
③	ひきこもり 訪問支援事業	ひきこもる本人に対して、身近な相談相手として訪問を通じ た支援を行う「ひきこもり訪問サポーター」を派遣し、対象者 の抱える不安や悩みに寄り添いながら、共通する趣味や関 心事から関係性を築き自己肯定感の回復と向上を図りまし た。 内容:自宅又は集いの場においての相談、 学習支援 費用:700円/時間 及び燃料費実費相当分 活動者:若者サポート風の会 利用登録者数:5人 利用件数:延べ0件 【ひきこもり訪問サポーターフォローアップ】 回数:1回 内容:ひきこもりと生活困窮の関係性と 支援方法について 講師:鈴木美登里さん (東海市市民福祉部 社会福祉課) 参加人数:18人 【ひきこもり訪問サポーター打合せ会】 回数:2回 参加人数:延べ14人	34,000	2,709	31,291
④	ひきこもり 合同企画事業	日本福祉大学とひきこもりの親の会「なでしこの会」と協働 で、今後のひきこもり支援のあり方を考えるために合同企 画事業を実施しました。 期日:11月24日 会場:日本福祉大学名古屋キャンパス 内容:青年層・中高年層にわたる ひきこもり支援をめぐって 講師:上田理香さん (KHJ全国ひきこもり家族会連合会本部 事務局長) 丸山康彦さん (ヒューマン・スタジオ代表・相談員) 勝部麗子さん (豊中市社会福祉協議会福祉推進室長) コーディネーター:竹中哲夫さん (日本福祉大学名誉教授) 参加人数:85人	53,000	52,340	660
⑤	長期・年長 ひきこもりを 抱える 家族の集い	ひきこもり本人が概ね30歳以上のご家族を対象に悩みや 対処方法などの情報交換の場を設けました。 開催:5月27日・8月26日・11月25日・2月17日 会場:福祉活動センター 内容:家族の集い 参加人数:延べ27人	—	—	—
⑥	民間保育所 助成	市内の民間保育所3か所に、運営に必要な物品購入など の助成を行いました。	123,000	107,697	15,303

Ⅳ 連携のとれた施策・活動の推進

単位:円

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 地域包括ケアシステムの構築					
①	生活支援体制整備事業 (協議体運営支援事業)	地域における生活支援サービスやネットワークを構築するために、市域の協議体(第1層)の企画運営に継続参加し、社会資源開発、人材育成、関係機関との調整・連携、広報などを行いました。また、「これからの包括的支援体制づくりに関する報告書」の提言を行いました。 【会議】 ・生活支援体制整備協議体委員 回数:4回 ・生活支援体制整備事務局会議 回数:12回 ・生活支援コーディネーター第2層会議 回数:12回 【広報】 「ちたのふくし」に「地域包括ケアシステムだより」を年4回掲載 7月:第3層の互助の基盤づくり、第2層活動紹介、新規サロン紹介 10月:生活支援体制整備委員会報告 (第3層のこれからについて)、地域助け合い講座 1月:生活支援体制整備委員会報告 (第3層の意見交換)、ワークショップ報告 4月:これからの地域共生社会の地域づくりについて 【研修】 (1) 協議体委員・職員研修会 1回目 期日:9月28日 会場:市民活動センター 内容:地域包括ケアシステムの深化を考える 講師:酒井 保さん(ご近所福祉クリエイター) 参加者:43人(協議体委員、市・社協職員) 2回目 期日:11月11日 会場:市役所 内容:「我が事・丸ごと」の知多市の 地域共生のデザインを考える ～第4次地域福祉計画の策定に あたり私たちがやるべきこと～ 講師:原田 正樹さん(日本福祉大学教授) 参加者:57人(協議体委員、市・社協職員) (2) 地域共生社会づくりフォーラム 期日:2月23日 会場:勤労文化会館やまももホール 内容:Ⅰ部 映画 「こんな夜更けにバナナかよ」 Ⅱ部 トークセッション「共生を問う」 参加者:Ⅰ部 230人、Ⅱ部 110人	840,000	840,000	0

②	生活支援体制整備事業 (第2層コーディネーター)	中学校区域(第2層)の生活支援体制を構築するために、地域診断、社会資源の開発、担い手の養成・発掘などを行いました。 (担当地区: 八幡中学校区、東部中学校区) 【生活支援体制整備協議体委員会】 生活支援コーディネーター第2層会議 回数: 12回 【コーディネート業務】 ・八幡中学校区(八幡地区) - まちの縁側サロンの立上げの話し合い - コミュニティとの打合せ ・八幡中学校区(つつじが丘地区) - 朝倉団地コミュニティスペース運営支援 - 福祉マップ作成等地区学習会 ・東部中学校区(東部地区) - コミュニティ防災部会の参画、買物支援打合せ - サロンへの住民ワークショップ 【研修】 (1)先進地視察研修会 期日: 8月8日 研修先: 三重県菰野町、伊賀市 内容: 住民支え合い活動、住民自治協議会等 期日: 1月7日・8日 研修先: NPO法人ゆずり葉、板橋区社会福祉協議会、社会福祉法人ドリームヴィ 内容: 住民の居場所づくり活動について (2)三地区(八幡・つつじが丘・東部)合同ワークショップ 期日: 9月29日 内容: 我がまちの未来予想図 ～私たちができること～ 講師: 酒井 保さん(ご近所福祉クリエイター) 参加者: 42人	7,156,000	7,156,000	0
③	特別支援教育を考える交流会	特別支援学級に通う子どもが発達課題と向き合うことのできる実践が展開できるように、学校と家庭と福祉・教育関係機関が連携するために意見交換会を開催しました。 期日: 11月15日 内容: 支援が必要な子どもの進路 講師: 山田理恵さん (つつじが丘こどもクリニック 発達外来) 参加人数: 26人	24,000	22,000	2,000
2 災害時の要配慮者への支援					
①	災害ボランティアコーディネーター養成講座	災害時、被災者自立復興の支援を行う災害ボランティアコーディネーターの養成を、会場の中学校区コミュニティの協力を受け開催し、平常時からの基盤づくりにつなげました。 回数: 3回 期日: 12月8日・14日・15日(中部中学校) 内容: 災害ボランティアセンター開設演習、災害図上訓練、避難所図上訓練、地域と災害ボランティアセンターとの連携、炊き出し(パッククッキング)等 講師: 西川賢次さん(防災士)、河合美恵子さん(防災士)、 講師補助: 福祉救援ボランティア「こだま」 前年度までの修了者 参加人数: 16人(修了者16人・累計修了者355人)	296,000	270,720	25,280

②	災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座	災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者に基本的な反復演習を提供することで地域力の底上げを目指しました。 期日：8月25日・9月10日・10月1日・19日・11月7日・17日・23日(11月17日は市総合防災訓練内) 内容：災害ボランティアセンター運営演習 講師：西川賢次さん(防災士)、 河合美恵子さん(防災士) 実人数：36人 延べ人数：130人	174,000	116,580	57,420
③	災害時対応物品整備事業	災害時、社協の初動その他活動に必要な物品の整備を行いました。 購入物品 住宅地図10冊 革手袋、踏み抜き防止インソール、カセットガス等	336,000	322,740	13,260
3 地域における連携と協働の推進					
①	第4次知多市地域福祉計画策定準備	令和2年度を終期とする第3次知多市地域福祉計画の次期計画を、知多市と協働して策定するにあたり、専門的見地からの助言や事務支援を得て取り組みました。	3,000,000	2,090,000	910,000
②	第2次知多市社会福祉協議会発展強化計画の推進	発展強化計画(5か年間の3年目)の推進、進行管理を行いました。	—	—	—
③	各種団体の支援	民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、手をつなぐ育成会、子ども会連絡協議会、母子寡婦福祉会、遺族会の事務局として、団体の事業や運営を支援しました。また、助成金を交付し、活動を支援しました。 民生委員児童委員協議会 214,760円(運営費) 身体障害者福祉協議会 28,114円(事業費) 手をつなぐ育成会 50,000円(事業費) 子ども会連絡協議会 163,000円(運営費) 子ども会連絡協議会 50,000円(事業費) 母子寡婦福祉会 34,180円(事業費)	578,000	540,054	37,946
④	知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会	知多半島5市5町で構成する知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会の情報交換に参画しました。	22,000	21,050	950
⑤	尾張部社会福祉事業連絡協議会	尾張地区内の社協、福祉事務所、民生委員児童委員協議会で構成する尾張部社会福祉事業連絡協議会の情報交換や各種研修会に参画しました。	137,000	122,920	14,080

V 孤立しない・させない関係づくり

単位:円

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1 切れ目のないネットワークの構築					
①	生活困窮者 自立支援事業 (自立相談支援 事業)	市内在住の生活困窮者に対して相談支援員が困りごとを整理し、自立に向けた個別プランを作成しました。また、関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行いました。 新規相談人数:146人 相談実人数:172人 相談対応件数(延べ):2,602件	13,956,000	12,976,739	979,261
②	生活困窮者 自立支援事業 (家計改善支援 事業)	相談者の家計の見直しや債務整理、税の分納相談に同行するなど、家計改善に向けての助言を行いました。 家計改善プラン作成:8件 相談実人数:32人 相談対応件数(延べ):447件	5,349,000	4,776,238	572,762
③	フードバンク 事業	生活困窮者が緊急的かつ一時的に生活支援を必要とする際に生活の再建を図るため、食料支援を行いました。 フードバンク:155件 フードドライブ:17件	130,000	130,000	0
2 権利擁護・虐待防止の推進					
①	日常生活 自立支援事業	日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助、利用料の支払い等適切な援助を行いました。 利用契約者数:10人	571,000	444,661	126,339
②	資金貸付事業	低所得者・障がい者・高齢者などに対し、資金貸付と相談・支援により経済的自立や社会参加の促進を図りました。 【生活福祉資金】 貸付件数:5件 償還指導訪問:2件 【つなぎ資金】 貸付件数:63件 貸付総額:1,238,720円 償還指導訪問:16件 償還免除:4件 償還免除金額:56,500円 【旅費欠乏者援護】 貸付件数:1件	2,495,000	1,707,220	787,780

VI 信頼される社協づくり

単位:円

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
①	会員募集事業	自主財源の確保のため、会員の加入促進を各地区、サービス利用者、関係機関、職員を通じて行いました。また、社協会員管理用ソフトウェアの更新を行いました。 【会費収入】 一般会員(500円/世帯) 16,029件 8,014,500円 特別会員(1,000円以上/世帯) 507件 498,500円 法人会員(3,000円以上) 182件 863,000円 合計 9,376,000円	1,239,000	1,107,599	131,401
②	ちよこつと募金	市内各店にちよこつと募金箱を設置し、広く市民に呼びかけボランティアセンター事業財源の確保に努めました。 設置数:32店・施設 募金額:99,161円	45,000	12,492	32,508
③	役員報酬	本会の事業運営・経営の労務に報酬を支給しました。	1,795,000	1,444,000	351,000
④	苦情解決・第三者委員	福祉サービスの提供に対する苦情への適切な対応と利用者の権利を保障するために第三者委員を設置しています。	8,000	1,400	6,600
⑤	福祉功労者顕彰	福祉活動への功績が顕著な方や、本会へ多額の金品の寄附をいただいた方に感謝状の贈呈を行いました。 感謝:11件	5,000	1,960	3,040
⑥	理事会 評議員会 監事会 評議員選任・解任委員会	理事会、評議員会で法人運営、経営状況、事業効果を協議し、監事会で事業の実施状況、経営状況の監査を受けました。 理 事 会 5回(5月29日、6月25日、12月23日、2月25日、3月26日書面表決) 評議員会 3回(6月24日、12月25日、3月30日書面表決) 監 事 会 2回(5月22日、11月15日) 評議員選任・解任委員会 2回(5月29日、12月23日)	68,000	36,680	31,320
⑦	役員研修	理事会、評議員会で第2次社協発展強化計画の内容、社協災害対策計画の概要について説明を行いました。	—	—	—
⑧	給与・労務管理(委託)	給与・労務管理業務の専門家の支援・指導を得て適正に遂行しました。	1,851,000	1,850,340	660
⑨	会計業務相談(顧問委託)	会計事務を専門家の指導を得て適正に遂行しました。	415,000	414,400	600
⑩	弁護士相談(顧問委託)	法律の知識を要する相談業務に際し、法律の専門家の指導を得て適切な助言を行いました。	65,000	65,000	0

⑪	職員研修	職員の資質向上のために一般事務員、包括支援センター職員、介護支援専門員、ホームヘルパーを対象に組織的、職能的、技術的な研修を実施しました。また、視察などの内容は伝達研修の機会を設けました。 主な研修内容： 職員接遇研修、普通救命講習、介護技術研修、新入職員研修、認知症地域推進員研修、専門職現任研修 など	303,000	202,870	100,130
⑫	産業医の設置 ストレスチェック の実施	産業医を設置し、職員の健康管理、職場の労働環境の保全を行いました。また、常勤職員を対象にストレスチェックを行いました。	264,000	261,450	2,550
⑬	災害時 派遣事業	被災地支援のため、バスを借り上げ、災害ボランティアコーディネーターや個人ボランティアを中心としたボランティアを派遣しました。 【台風19号による被災地ボランティア活動】 共催：社会福祉法人常滑市社会福祉協議会 期日：11月28日 活動場所：長野市北部地域 活動内容：被災家屋の片づけ・清掃、家具の運搬、道路・河川敷・側溝等のがれき撤去、避難所や公的施設の清掃等 参加者数：16名（知多市関係分）	600,000	6,210	593,790
⑭	福祉活動センターの管理経営	主に各福祉団体・ボランティアグループなどの活動拠点として、継続して指定管理を受けサービスの向上に努めました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月5日から31日まで、会議室等の貸室利用を休止しました。	11,224,000	9,739,859	1,484,141
⑮	自動販売機の設置	市内公共施設に自動販売機を設置し、収益を事業に充当しました。 設置台数：市内8か所13台 設置場所：福祉活動センター、こども未来館、旭公園体育館、ふれあいプラザ、七曲公園、歴史民俗博物館、青少年会館、消防署八幡出張所 事業収入：2,274,337円	849,000	786,145	62,855
⑯	災害対策計画の見直し	職員が災害時に円滑かつ迅速に行動できるよう、災害時対策計画（災害時参集・体制計画、事業継続計画）を改訂するとともに、災害発生時優先業務のマニュアルを作成しました。	—	—	—

VII 介護保険・障がい福祉事業の推進

単位:円

NO.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
①	障がい者相談 支援センター ・特定相談支援 事業	障がいのある方やその家族等への情報提供、相談、支援 を行う障がい者相談支援センターを3法人(知多福祉会、 NPO法人びすた〜り、知多市社会福祉協議会)で共同運営 しました。 特定相談支援事業では、サービス利用計画の作成等を行 いました。 事業所名: 障がい者相談支援センター 障がい者計画相談支援事業所しゃきょう サービス提供時間: 月～金曜日9時～17時 サービス利用計画作成件数: 10件 障がい者相談件数(3法人): 12,156件 相談実人数(3法人): 350人	8,450,000	8,423,707	26,293
②	訪問介護事業 (ホームヘルプ サービス事業)	要介護の方の排泄等の身体介護、調理や洗濯等の家事援 助、要支援の方の予防訪問介護のサービスを提供しまし た。 事業所名: 社協ヘルパーステーション 営業時間: 月～金曜日 8時30分～17時15分 サービス提供時間: 年中無休 7時～21時 訪問介護利用回数: 7,664回 介護予防訪問介護利用回数: 1,839回	65,343,000	61,980,455	3,362,545
③	居宅介護支援 事業	居宅介護支援(ケアプラン作成)、介護予防支援(介護予防 ケアプラン作成)と要介護認定調査を行いました。 事業所名: 社協介護支援センター 営業時間: 月～金曜日 8時30分～17時15分 居宅サービス計画作成件数: 介護 949件 介護予防 252件	26,725,000	23,029,799	3,695,201